

## 長浜バイオ大学ゲノム編集研究所の紀要発刊によせて

現代社会では、サイエンスイノベーションと呼ばれる科学技術の大きな変革が起きており、これにより社会の構造だけでなく、人々の価値観までもが変化しようとしております。特に、生物の遺伝情報を自由に書き換えることが可能なゲノム編集技術は、人類の長期的生存に不可欠であるともいわれ、新しい有用形質を獲得した動植物の作製や、難治性の病気治療法の確立、再生医療における新治療法の開発、新しい医薬品の開発などに大きく貢献するものと期待されています。一方、様々な生物種におけるゲノム編集技術の確立、バイオサイエンス各分野の基礎研究や応用研究へのゲノム編集の適応、より効率的で確実なゲノム編集技術の開発などについては今後の課題とされています。そこで、ゲノム編集に関する先端的研究を行い、その成果を社会に発信することがバイオサイエンス分野の最先端を担う長浜バイオ大学の重要な責務ととらえ、ゲノム編集研究所を2019年に全国に先駆けて開所いたしました。

長浜バイオ大学ゲノム編集研究所では、現在のゲノム編集が適用される全ての生物に対応するために、動物部門と植物部門をそれぞれ設置し、これまでに各部門で世界最先端のゲノム編集に関する研究を行ってまいりました。今回発刊されるゲノム編集研究所の紀要は、各部門、各分野の研究で培われてきたゲノム編集に関する研究成果が記載されております。私は、紀要に掲載されている研究成果と情報が、多くの研究者に有用な知見を与え、地域や人類の発展に貢献できることを心から願っております。

長浜バイオ大学ゲノム研究編集所におきましては、今後もゲノム編集に関するトップレベルの研究を力強く推進し、社会に積極的に発信していただくことを切に希望しつつ紀要発刊によせての挨拶とさせていただきます。

長浜バイオ大学 学長

蔡 晃植